法学部
学部・大学院5年一貫プログラム
（国際関係論／国際関係史）

2021年度第1回説明会
2021年7月 7日

一橋大学 Hitotsubashi University

1

一橋大学 Hitotsubashi University

5年一貫プログラム（国際関係）とは？

- 一橋大学法学部の特徴：法学+国際関係
  ⇒「リーガル・マインド」と「国際感覚」の双方を
  兼備した、リベラルな「グローバル人材」の育成
- 学士課程4年間と修士課程1年間の合計5年間で、
  学士号と修士号の取得を可能とするもの。
- 対象：修士課程において、国際関係論または
  国際関係史のいずれかを専攻する本学の学生。
  ※学士課程においての専攻・コースは問わない。

2

一橋大学 Hitotsubashi University

5年一貫プログラム　対象領域

【学士課程】不問

【修士課程】国際関係論または国際関係史の
いずれか

↓

出願時点で修士課程の専攻分野を、上記いずれかに定めている必要あり

3

一橋大学 Hitotsubashi University

5年一貫プログラムの趣旨・メリット

- GLPとの連携
- 国際社会で求められる修士号
- 優秀な学生に高度な専門性を後押し
- 博士課程への進学や留学など、将来のキャリア・プランの拡張

4

권유1

一橋大学 Hitotsubashi University

5年一貫プログラム　修了要件

【学士課程】:通常と同様

- 総修得単位数124単位以上（うち主ゼミ8単位）および卒業論文合格

【修士課程】

- 総修得単位数30単位（うちゼミ4単位、研究指導2単位） および修士論文試験合格

※法学研究科の修士課程では通常、演習 8 単位及び研究指導 4 単位を 2 年間で修得することが求められています。本プログラムは、このうち 1 年間分（演習・研究指導合計 6 単位分）を、学部4 年次に履修していただきます。

5

一橋大学 Hitotsubashi University

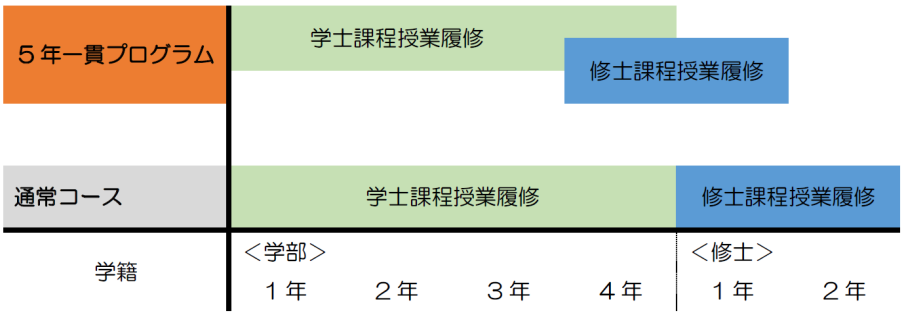
5年一貫生として決定するまで

- 学部3年次1月
  「修士課程特別選抜入試　学部特別選考」
  →内定
- 学部4年次4月より、指定された大学院科目（院ゼミ・研究指導含む）の履修が可能
- 学部4年次9月
  「法学研究科修士課程入学試験」
  →合格後確定

6

一橋大学 Hitotsubashi University

在籍に関する扱い



- 学部4年＋修士1年（学籍番号もこれに準ずる）
- 学部4年次には修士課程修了見込み証明書の発行は不可能
- 学部4年次9月の5年一貫正式決定から学部卒業までの間は、5年一貫プログラム在籍証明書を法学研究科事務室にて発行

7

一橋大学 Hitotsubashi University

学部4年次履修可能の大学院科目

- 5年一貫プログラムにおいて指定された大学院科目のみが対象（次の表、参照）
- 学部4年次に、大学院演習および研究指導の履修が可能。

8

一橋大学 Hitotsubashi University

ナンバリング	科目名	単位	教授言語	学部・大学院で合同で開講する科目名
JG-D503	国際法特殊問題C	2	英	(IPP) Community Interests and International Law I
JG-J414	EU法特殊問題	2	英	(IPP) Regional Studies, (学) EU Law
JG-D505	EU論特殊問題	2	日	(IPP) EU論
JG-D507	国際安全保障特殊問題	2	英	(IPP) International Security Policy
JG-D508	リサーチ・メソッド特殊問題	2	日	(IPP) 政策分析の技法I
JG-D509	国際政治理論特殊問題	2	日	(IPP) 国際政治学基礎論
JG-D510	ﾖｰﾛｯﾊﾟ国際政治史特殊問題	2	日	(IPP) Reginal Studies II
JG-D511	ｱﾒﾘｶ政治外交史特殊問題	2	日	
JG-D512	中国政治外交史特殊問題	2		
JG-D513	日本外交史特殊問題	2	日	(IPP) 日本外交政策論
JG-D514	東アジア国際関係史特殊問題	2	日	(IPP) 東アジア国際関係, (LS) 国際関係学
JG-D515	政治学特殊問題	2	英	(IPP) Japan's Foreign Policy Making Ⅰ
JG-D402	Special Case Study on International Security	2	英	(学部)(HGP) Case Study in International Security
JG-D401	Special Issues in Theories of Global Governance	2	英	(学部) Global Governance (IPP) Global Governance Theory
JG-J412	Euro-Asia Summer School	2	英	(学部) GLP国際セミナー（ベルギー） (IPP) Euro-Asia Summer School
JG-D519	Special Case Study on International History	2	英	(IPP) History of International Order
JG-D403	Special Case Study on International Political Economy	2	英	(学部)(HGP) Case Study in International Political Economy
JG-D520	Special Issues in International Political Economy	2	英	(IPP) International Political Economy I

9

一橋大学 Hitotsubashi University

学部4年次履修の大学院科目

- 16単位までを修士課程修了要件に算入可能
- 修士1年次には、法学研究科細則に基づき大学院科目を自由に履修可能
- 学部・大学院共修科目は、学部科目・大学院科目のどちらとして履修するかを自分で設定

（可能な限り、大学院科目として履修することを推奨）

- 学部・大学院科目を併せて単位数限度である44単位まで履修登録可

10

一橋大学 Hitotsubashi University

学部4年次履修大学院科目の成績

- 学部4年次に履修した大学院科目も、学部の成績証明書に卒業要件外科目として掲載される
- 学部の修了要件には含まれない
- 学部4年次に履修した大学院科目の成績は、大学院GPAに含まれる

11

一橋大学 Hitotsubashi University

修士課程　指導教員

国際関係論	国際関係史
• 山田敦 • 秋山信将 • 大林一広 • 市原麻衣子	• 青野利彦 • クォン・ヨンソク

12

一橋大学 Hitotsubashi University

学部特別選考　出願資格

- 現在、一橋大学法学部3年次在籍
- 出願翌年3月に卒業見込みの者
  （長期海外留学中の者は、学部特別選考実施時点から2年後の3月までに卒業見込みの者）
- 修士課程で国際関係論または国際政治史のいずれかを希望専攻分野とする者
- 法学部科目の単位を、3年夏学期までに50単位以上修得済

13

一橋大学 Hitotsubashi University

学部特別選考　出願書類

（1）出願書（所定の書式、法学部ウェブサイトに）

（2）3年次夏学期までの成績証明書 1通 （出願時点で取得可能なもの）

（3）研究計画書（2,000字程度、A4、横書き）1部

（4）ゼミ指導教員（またはそれに準ずる教員）の推薦状
（A4 判用紙、様式自由）1通

（5）TOEFL公式スコアレポート（学内TOEFLスコアレポートも可）、または IELTS 公式スコアレポート（いずれも学部特別選考出願期日からさかのぼって、2 年以内に受験したもの）の写し 1 通

＜語学試験の中止に伴う代替措置について＞

申請期間までに語学試験の受験ができない場合の代替措置として、
「 TOEFL iBT Special Home Edition 」のスコアの提出を認める。

14

一橋大学 Hitotsubashi University

選考方法と内容

【選抜者数】：1学年5名程度

【選抜方法】：2段階

1．学部特別選考（学部3年次1月下旬-2月上旬）
　書類審査および面接　⇒「内定」

2．修士課程特別選抜入試（学部4年次9月）
　面接（要書類提出）　⇒「合格後確定」

※修士課程入学のための筆記試験が免除される

※成績証明書、研究計画書、推薦状、TOEFL・IELTS スコアおよび口述試験の結果を総合して選抜者を決定する

15

一橋大学 Hitotsubashi University

学部特別選考　選考日程（予定）

【出願期間】

2022年1月半ば

【第1 次選考（書類選考）合格者発表】
2022年1月末

【第2 次選考（口述試験）】
2022年2月上旬

【最終選考結果発表】
2022年2月上旬

16

一橋大学 Hitotsubashi University

【参考】モデル・ケース

【ケース①】:GLPコースとの連携

- 2年次からGLPに参加し、3年次にGLPとして留学
- 留学先で5年一貫プラグラムに応募、オンライン面接
- 帰国後、4年次9月の修士課程試験(面接)を経て、正式に5年一貫プログラム参加。

【ケース②】:通常のコースからの参加

・1，2年次に国際関係、法学の基礎を固める。

・3年次に5年一貫プログラムに応募し、4年次春学期より指定の大学院科目を履修。

※共通:4年次に卒論,5年次(修士課程)に修士論文を執筆

17

一橋大学 Hitotsubashi University

【参考】その他留意事項

- 学部特別選考に合格すると、4年次には国際関係論・国際関係史分野の大学院科目(一部例外あり)の履修が認められ、修士課程特別選抜入試に合格すると、4年次に修得した大学院科目単位のうち16単位までが、修士課程修了要件に算入可能となります。
- 4年次に長期海外留学を行う学生も、5年間での学士課程・修士課程修了が制度上可能となっています。
- 5年一貫プログラム参加希望者のうち留学を予定している者は、帰国から卒業論文提出までにあまり時間がないことが想定されます。卒業論文は、できるだけ留学前の3年生の段階で執筆を開始できるよう準備して下さい。

18

一橋大学 Hitotsubashi University

問い合わせ先

①法学研究科事務室（教務）
law-km.g@ad.hit-u.ac.jp

②クォン・ヨンソク（担当教員）
y.kwon@r.hit-u.ac.jp

・参考URL：http://www.law.hit-u.ac.jp/faculty/5years

19